

はなれていても

高野 光雄 さん（八木沢・芦原 福島県南相馬市在住）

昨年、八木沢時に面する敷地に碑を建てたのは、残した歴史があったからです。そこはかつての奥州西海道、旅人が行き交う道でした。碑を建てた横には祠があり、かつてはヤマザクラの古木が道に降りかかって花を咲かせていました。今は枯れてしまいましたが、その場所に、新たに桜も植えようと思っています。

盆栽が趣味で、造園士の資格も持っています。避難先の庭に降ろした盆栽の桜、実から育てたヤマザクラ、他にも種類の異なる桜を植えたこと考えています。

子どもの頃、親父と衝突していた私に、おばあさんは「自分のせいだ、恨むならおれを恨め」と言いました。そんな時、裏山で涙を流す私の心をなぐさめてくれたのが野の花でした。それが趣味の「清光」の屋号を入

私は、「ふるさと」には2つの意味があると気がつきました。1つは離れて想うふるさと。悲しい時、悔しい時、歯をくいしばって頑張る時に心に浮かべるふるさとです。そして、もう1つは守るふるさと。震災に遭い、家を、村を守らなくてはと避難先から通ううちに、2つ目のふるさとを感じるようになったのです。さまざまいるうちはよく分かりませんが、去年ここに落ち着いたのさとの違いに気づいたのです。

れました。「清光」のごとく清い光の人生だったとは言えませんが、そうありたいと願ってきました。息子夫婦、妻と共に原町に落ち着き間もなく1年。これでいいのかと自問自答することもありますが、昔のふるさとについて残していくことが今の使命なのだと思います。



高野さんがこの地の歴史を記して建てた石碑「路端ノ史跡」。碑の言葉は、「歴史ヲ正シク伝エル事ハ遠ザカル小サナ集落ニモ発展ニ続ク事ヲ願ウモノ成リ」と結ばれています。

妻のミツ子さんと

■ イタネちゃんへの年賀状 ■

今年もイタネちゃん宛に、たくさんの年賀状が届きました。遠くにいても応援してくれる皆さんからのメッセージに、イタネちゃんも大喜びでした。

上手な似顔絵
たくさん
ありがとう！



交流センター「ふれ愛館」だより

1月18日、村民有志の皆さんが、昨年に続いて、交流センターに、手作りの「だんごさし」を飾ってくださいました。館内が華やき小正月の雰囲気になりました。

駐在さんに感謝の花束



令和3年12月28日、飯館村駐在所連絡協議会が、南相馬警察署飯館駐在所の川尻和幸さんへ、日頃の感謝の気持ちを込めて蘭の鉢植えを贈呈しました。写真は右から、渡邊守男さん（小宮）、佐藤昇さん（草野）、高橋英明会長（上飯樋）、飯館駐在所班長の川尻さん。

親子でロディ&ハグモミ教室



1月15日、『ふかや風の子広場』の屋内運動施設『ひみつ基地ときどき』で、未就学児を対象に、「ロディ&ハグモミ」教室が開かれました。講師は高野優香さん（福島市）。乗り物玩具ロディを使った親子ヨガや体育遊び、さらには触れ合いのコミュニケーション術「ハグモミ」を教わり、5組の家族が和やかに、新しい体験を楽しみました。

身近な話題を
お寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

話題のパレット

クリスマスに届いた贈り物



昨年12月24日、「飯館ライオンズクラブ」から、「までいの里のこども園」にパネル2枚、「いいたてホーム」にワイヤレスカラオケ2セットが寄贈されました。同ホームには、「日赤奉仕団」からタオル170枚もプレゼントされました。

大成JVから暗幕の寄贈



村内で仮置き場復旧工事などを行う『大成JV（大成・あおみ特定建設工事共同企業体）』の職長会から、『いいたて希望の里学園』に体育館で使用する暗幕の寄贈がありました。1月14日、清水義男所長（写真右端）らが来庁。「学校や子どもさん達に少しでも貢献できればうれしいです」と遠藤教育長に目録を手渡しました。